

地域を知ろう(22)

民話・伝説

No.2 気象神社

日本で唯一の 気象神社

みなさん、ここに紹介する気象神社をご存じでしょうか。珍しい名前ではありませんか。ご祭神は「八心思比兼命（やごころおもひかねのみこと）」と申します。

そもそもこの神社は終戦まで、高円寺北四丁目、今の馬橋公園の地にあった旧日本気象部の中にお祭りしてあった神様です。

当時は軍の気象観測が間違いなくあたりますようにとお祀りして、毎日観測員が勤務に着く前に、この社へ手を合わせお詣りしたという事です。

しかし昭和二十年八月、我が国の敗戦でこの観測部隊も解散させられて、社だけが残された。町座地も白梅学園に払いさげられ、行き先のなくなっただけで、昭和二十九年九月に今の氷川神社境内に安住

の地を得て移ったのです。

この神社の祭礼の日は、毎年六月一日です。参詣人も始めは少なかつたのですが、次第に多くなつて来ました。氏子崇拝者ももちろんのことですが、その外にも本家の気象庁から代表者が来たり最近では、天気に関係のある商売の観光バス会社等から職員が、またなかにもお参りに来る姿が見られるという事です。異色なのは、昔の氏子であった旧陸軍第三気象隊の戦友会のメンバーなど、往時を偲んでお参りに来るとのこと。

六月一日の祭礼の日は丁度入梅の季節となり、雨が少ないと最近の事です。



てくれえるかもし
れません。